

Microsoft Fabric導入支援サービス

Microsoft Fabricを用いた分析環境設計構築支援サービスのご紹介

2025年3月

BIPROGY株式会社

1 Microsoft Fabricのご紹介

2 Microsoft Fabric導入支援サービスのご紹介

3 本サービス利用者様への依頼事項

4 関連する支援サービスのご紹介

Microsoft Fabricのご紹介

Microsoft Fabricの概要

- Microsoft Fabric（以下、Fabricと表記することがあります）は、データ分析やデータ利活用に必要なエクスペリエンス（構成機能）をSaaS上に集約した分析プラットフォームです。
- Fabricは以下のようなエクスペリエンスで構成されています。
またFabricは 2025/3現在も拡張を続けています。
 - Data Factory：データの取り込み、変換
 - Data Engineering：非構造化データ、構造化データの集積
 - Data Warehouse：分析用データの蓄積
 - Power BI：データの視覚化、レポートニング
 - Data Science：機械学習
 - Real Time Intelligence：ストリーミングデータの取込や分析



参考:<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-fabric>

Fabricのユースケース

■ 手軽にデータ分析環境を用意したい

- Fabricはアカウントとワークスペースの設定さえ行えばデータ収集、格納、可視化、分析に必要なツールが全て使用できるようになります。
- Azureでは使用するPaaSの選定や設計・設定に時間を要しますが、Fabricではその必要はありません。

■ これまでのデータを利用して分析をしたい

- FabricはAzureや他社クラウドサービス、オンプレミス等様々なデータソースと連携しデータを取得するためのコネクタが用意されています。

■ 分析の過程や結果を組織で共有したい

- ワークスペースを組織やユーザーで共有することで分析用のデータや分析レポートの共有が可能です。

■ 自分専用の分析環境が欲しい

- 各ユーザー専用のマイワークスペースが用意されます。

■ 生成AIを使って分析したい

- Copilotと連携し生成AIの支援を受けながら分析ができます。

Fabricのユースケース

■ ワークスペースの利用イメージ



データ分析基盤サービス ポジションマップ

- MicrosoftはFabricとAzureを提供していますが、データ分析基盤としての特性は異なります。



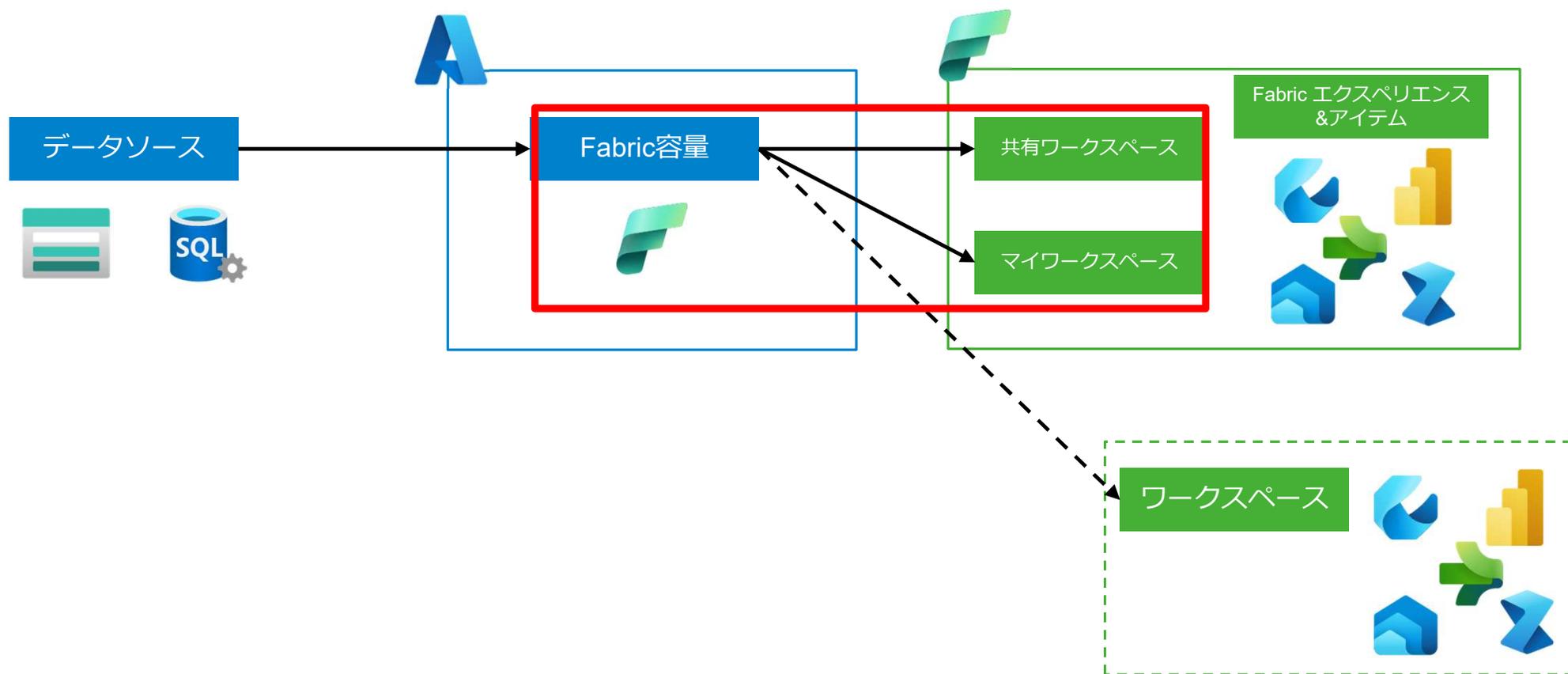
Microsoft Fabric導入支援サービスのご紹介

Microsoft Fabric導入支援サービスの特長

- Microsoft Fabric導入支援サービス（以下、本サービス）では、Azureをお使いのお客様向けに Microsoft Fabricを利用し始めるための支援をします。
 - ① Azure環境内にFabric容量を設計・構築
FabricはSaaS製品ですが、Fabricに関するリソース「Fabric容量」をAzure内に作成する必要があり、その設計・構築をお手伝いします。
 - ② データ分析者や組織で共有する作業場所（ワークスペース）の作成
Fabricサービス上に作業場所（ワークスペース）を作成し、Fabricを利用する分析者をワークスペースに招待します。
 - ③ 個人作業場所（マイワークスペース）をAzure内のFabric容量に紐づけ
Fabricを利用する分析者のマイワークスペースと①のFabric容量を紐づけます。

Fabricの構成イメージと本サービスの範囲

- 本サービスでは赤枠の範囲を支援します。



本サービスの作成物

- 本サービスでは以下を作成してご提供いたします。
 - Microsoft Fabric環境
 - ◆ Fabric容量 ×1 (Azure内のPaaSリソースとして)
 - ◆ Fabricワークスペース ×1 (共有ワークスペースとして)
 - ◆ マイワークスペースとFabric容量との紐づけ設定 ×最大30ユーザー分まで
 - Fabric環境設定パラメータシート
 - ◆ Fabric容量パラメータシート
 - ◆ Fabricワークスペースパラメータシート

本サービスの流れ

- 本サービスは以下の流れで実施いたします。
 - ▶ 本サービス開始1ヶ月前までに本サービスをお申し込みください。
 - ▶ 本サービス開始から完了までの目安は最短で1ヶ月を見込みます。



本サービスの前提

■ 本サービスに対する環境や設計について以下を前提とします

➤ EntraIDテナントとFabric容量テナント

- ◆ EntraID（テナント）はFabric容量を作成するAzureテナントと同一テナントとします。

➤ Fabric利用対象ユーザー

- ◆ Fabric利用ユーザーはFabric容量と同一テナントのEntraIDユーザーとします。（ゲストユーザーは対象外とします。）

➤ Fabricワークスペース（共有ワークスペース）

- ◆ 本サービスでFabricテナントに作成するワークスペース（共有ワークスペース）は1つとし、本サービスで設計構築するFabric容量に紐づけます。

➤ Fabric利用ユーザーのマイワークスペース割り当て容量

- ◆ Fabric利用ユーザーのマイワークスペースは、本サービスで作成するFabric容量に割り当てます。
- ◆ Fabric利用ユーザーアカウントをサービス利用者に指定いただきます。本サービスでは最大30ユーザーまでの対応とします。
- ◆ Fabric利用ユーザーのアカウントは全て、各利用者で事前にFabricポータル(<https://app.fabric.microsoft.com/>)にアクセスし、マイワークスペースを利用可能な状態としていただきます。

➤ Fabricリソースへの接続

- ◆ 本サービスではFabricリソースへの接続はインターネット経由を前提とします。（プライベートネットワークと接続するためのサービスや、閉域化のための考慮は対象外とします。）

本サービス利用者様への依頼事項

本サービス利用者様への依頼事項

- 本サービスの実施に伴いサービス利用者様でご対応いただく依頼事項がございます。サービス開始の際にもサービス実施者よりご説明とご依頼をいたします。

- ① ヒアリングシートへの回答記入と返送

- ② Fabric利用ユーザーアカウントやグループの検討と管理

ヒアリングの際に本サービスで想定するFabric利用ユーザーアカウント（30ユーザーまで）をご指定いただきます。

また権限等の設定としてグループを用いた設定を希望される場合は、ユーザーのグループ参加等管理のご対応をお願いいたします。

- ③ 各Fabric利用ユーザーアカウントにてFabricポータル初回ログイン

ご指定いただいた各Fabric利用ユーザーアカウントにて、環境構築作業日までにFabricポータル(<https://app.fabric.microsoft.com/home>)へのログイン実施をお願いいたします。これによりログインしたユーザーアカウントに対するマイワークスペースが作成されます。

- ④ 構築作業用アカウントの発行と貸与

サービス利用者様環境での構築作業用アカウントを発行いただき、弊社サービス実施者に貸与いただきます。

当該アカウントは以下の権限付与をお願いいたします。

- AzureリソースのIAM
Azureリソースグループの「所有者」（既存リソースグループにMicrosoft Fabricを設定する場合）
Azureサブスクリプションの「所有者」（新規リソースグループにMicrosoft Fabricを設定する場合）
- ディレクトリロール
「Fabric管理者」

また当該アカウントは弊社による環境構築作業後に削除をお願いいたします。

- ⑤ 本サービス実施に伴うスケジュール等の調整

主にサービス利用者様環境を用いた構築作業の日時について調整をお願いいたします。

関連する支援サービスのご紹介

関連する支援サービスのご紹介

■ Microsoft Fabric QAサービス

- Microsoft Fabricに関して技術問い合わせをお受けする支援サービスです。
主に本サービス実施後にFabricを実際にご利用いただく際の疑問解決に是非ご利用ください。



BIPROGY

Foresight in sight